

陸前高田市健康づくり推進計画 中間評価

はまって かだって つながって
～みんなで輝く陸前高田～

健康りくぜんたかた21プラン(第2次)
みんなの子ども計画
食育推進基本計画

2016年(平成28年)～2022年(平成34年)



平成31年3月

陸前高田市

目 次

第1章 計画策定の趣旨とその動向.....	1
1 計画策定の趣旨	1
2 基本的な方向を実現するための目標.....	2
3 計画の推進体制	3
第2章 中間評価の目的及び方法等.....	4
1 中間評価の目的	4
2 中間評価の方法	4
3 全体の指標の評価状況.....	5
第3章 評価と今後の課題	6
1 各目標項目の評価の状況.....	6
2 考察.....	10
3 課題.....	11
第4章 目標項目及び指標の変更	12
第5章 今後の取組	18
1 今後の取組の方向性	18
2 施策実施に当たって重視する視点	18
目標項目一覧	19
資料編	
1 調査の概要.....	1

第1章 計画策定の趣旨とその動向

1 計画策定の趣旨

保健福祉の視点からまちづくりを進めるためのものとして、「健康増進計画（健康りくぜんたかた21プラン 第2次）」「母子保健計画（みんなの子ども計画）」「食育推進計画」を合わせ、「陸前高田市健康づくり推進計画」として策定したものです。

この計画は、健康日本21（第2次）で目標としている「健康寿命の延伸」と「個別の疾病予防」の達成のため、市民・関係機関・行政が協力し進めていきます。

平成34（2022）年度を目標年次とする7年計画としており、平成30（2018）年度を中途に中間評価を行うこととしています。

陸前高田市健康づくり推進計画の目標及び性格等

計画期間	平成28（2016）年度～平成34（2022）年度（7年計画） 中間評価（平成30（2018）年度）→最終評価（平成34（2022）年度）
目標	【全体目標】 1 誰もが、一生涯（ず～っと）、幸せと生きがいを感じられるまちづくり（健康寿命の延伸） 2 世代間の「はまって、かだって」が進むまちづくり（個別の疾病予防）
基本的な方向	1 社会参加で元気づくり 2 お互い様で健康づくり 3 はまってけらいん かだってけらいん 4 誰もが健康になるまちづくり 5 子どもを産み育てやすい子どもが元気なまちづくり 6 住民と創る医療
性格	・健康づくり分野における領域計画 ・「障がい者福祉計画・障がい福祉計画」「介護保険事業計画・高齢福祉計画」「子ども・子育て支援事業計画」「データヘルス計画・特定健康診査等実施計画」等の関連計画と整合し、相互に連携・連動する計画

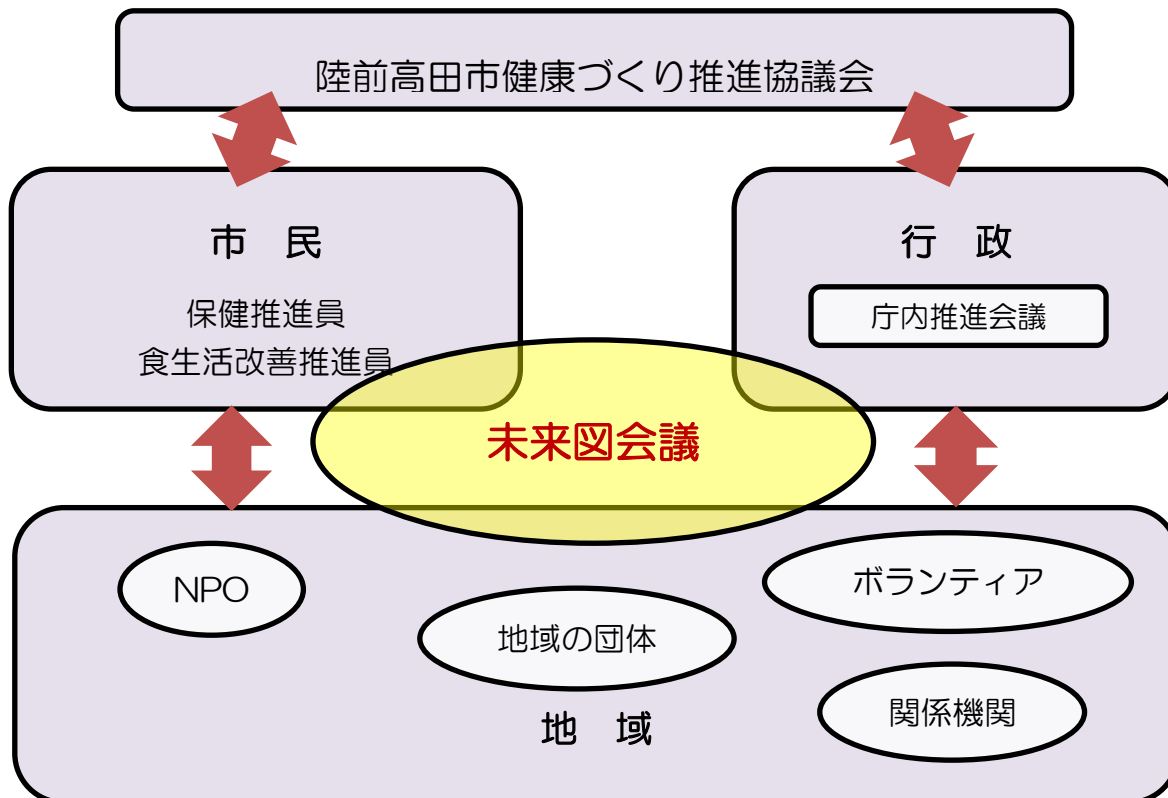
2 基本的な方向を実現するための目標

基本的な方向	目標
1 社会参加で 元気づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を活発にする。 ・趣味や運動のサークル・教室で社会参加を促進する。 ・引きこもり等により配慮が必要な子どもや若者に、交流と学習の機会を提供する。
2 お互い様で 健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の集まる場を増やす。 ・地域の中で運動できる機会や場所を増やす。 ・地域の分煙を促進し、禁煙への取組を強化する。 ・移動手段の整備を進める。
3 はまってけら いん かだってけら いん	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の集いの「場」をつくり、交流を促進する。 ・はまってけらいん かだってけらいん運動を理解し、参加したい「はまってけらいん かだってけらいん」の情報を共有し、参加しやすい環境を整える。 ・高齢者や障がい者が「はまってけらいん かだってけらいん」しやすいようにバリアフリーのまちづくりを進める。 ・「はまってけらいん かだってけらいん」で主観的健康観を高め、健康寿命を延ばす。 ・メタボリックシンドロームや肥満への取組を行い、生活習慣病の発症を減らす。 ・規則正しい生活をして、十分な睡眠・休養をとる。 ・口腔の健康に留意し、8020を目指す。
4 誰もが 健康になる まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防と重症化予防を推進する。 ・日々の生活の中で休養と心の健康の重要性を理解する。 ・ライフステージに合わせた食育を行う。 ・多様性を理解し、「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」を推進する。
5 子どもを産み 育てやすい 子どもが元気 なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期支援の充実を図る。 ・関係機関の協働による健康教育の推進。 ・子育て支援に係る関係機関連携による多面的推進を行う。 ・健康診査やサロン等の機会を利用した保護者への支援をすすめる。 ・相談・訪問支援体制の整備による子どもの健やかな育ちを支援する。
6 住民と 創る医療	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問医療を推進する。 ・住民で支える医療に取り組む。 ・生活習慣病の予防・重症化予防に取り組む。 ・命について考える機会を増やす。

3 計画の推進体制

計画推進のため、市民・関係機関・行政が協力し進めることとします。

進捗管理や助言を陸前高田市健康づくり推進協議会に諮っていきます。



第2章 中間評価の目的及び方法等

1 中間評価の目的

陸前高田市健康づくり推進計画では、平成30(2018)年度の中間評価、平成34(2022)年度の最終評価による、本プランを推進するための目標項目と取組を評価し、その後の健康づくり施策に反映することとしています。

このため、本計画の中間評価については、目標項目の進捗状況や取組状況の評価するとともに、その課題を明らかにし、計画後期の施策に反映することを目的としています。

2 中間評価の方法

陸前高田市健康づくり推進計画の策定時に設定された目標指標について、基準値（策定時の現状値）から目標値に向けた中間実績値（直近値）の進捗状況（到達度）を次の方法によって算出し、その値を評価の判定基準に当てはめ、5段階（A～E）で評価しました。

<数値で目標を設定している場合>

到達度の算定方法	
①基準値よりも実績値を上げる指標の場合	計算式 $(\text{中間実績値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値}) \times 100\%$
②基準値よりも実績値を下げる指標の場合	計算式 $(\text{基準値} - \text{中間実績値}) / (\text{基準値} - \text{目標値}) \times 100\%$

評価の判定基準				
評価区分	到達度 (%) : 中間評価		到達度 (%) : 最終評価	
A	45 以上	順調に改善	100 以上	目標達成
B	22 以上 45 未満	改善	50 以上 100 未満	目標未達成 (改善)
C	0 超え 22 未満	やや改善	0 超え 50 未満	目標未達成 (やや改善)
D	0 以下	変化なし・悪化	0 以下	目標未達成 (変化なし・悪化)
E	判定不能	評価不能	判定不能	評価不能

3 全体の指標の評価状況

指標	A	B	C	D	E
	順調に改善	改善	やや改善	変化なし 悪化	評価不能
数	3	4	11	12	8
割合	7.9%	10.5%	28.9%	31.6%	21.1%
	47.4%				

- ・全体の指標のおよそ5割にあたる指標で改善がみられました。
- ・順調に改善がみられたのは、女性の運動習慣、3歳児のう歯有病率、小学校5年生男子の肥満率でした。
- ・変化なし・悪化であったのは、要介護認定率、肺がん（女）・大腸がん（男女）検診受診率、適正体重維持率（男女）、喫煙率（女）、K6得点5点以上の割合（男女）、出生率、子どもの運動習慣、中学3年男子肥満率でした。
- ・基準値が不適で評価不能だった項目もあり、今回の中間評価において、目標項目、基準値、目標値の見直しを行う必要があります。

第3章 評価と今後の課題

1 各目標項目の評価の状況

番号	目標項目	区分	基準値	中間実績値	目標値	到達度	評価	出典
			H26 ※基準値が不適 なものは()内 が正しい基準値	H29	H34			
①	健康寿命(65歳以上の要介護(要支援)認定者の割合)		18.8%	19.3%	19%	目標値 <	D	市民課データ(年度末時点)
②	(参考)健康寿命 (国の示す計算式による)	男性	64.4歳	64.5歳				国保データベースシステム
		女性	66.9歳	66.7歳				
③	(参考)平均寿命	男性	78.6歳 【H22】	80.0歳 【H27】				市町村別生命表
		女性	86.9歳 【H22】	87.3歳 【H27】				
④	がん検診受診率の向上	胃がん:男	15.2%	19.7%	50%	12.8%	C	地域保健・増進報告
		胃がん:女	14.5%	19.3%	50%	13.5%	C	
		肺がん:男	18.5%	19.7%	50%	3.9%	C	
		肺がん:女	26.5%	25.6%	50%	-3.7%	D	
		大腸がん:男	18.4%	14.2%	50%	-13.2%	D	
		大腸がん:女	19.4%	17.3%	50%	-6.9%	D	
		子宮(頸)がん	26.0%	26.5%	50%	2.2%	C	
		乳がん	34.3%	35.2%	50%	6.0%	C	
⑤	適正体重を維持している者の増加 (BMI b判定+c判定)	男性	36.4%	38.8%	30%	-37.5%	D	東日本大震災被災者健診
		女性	34.4%	35.6%	26%	-14.3%	D	

番号	目標項目	区分	基準値	中間実績値	目標値	到達度	評価	出典
			H26 ※基準値が不適 なものは()内 が正しい基準値	H29	H34			
⑥	メタボリックシンドロームの該当者	男性	57.6% (41.2%)	47.7%	47%	基準値不適のため 判定不能	E	国保データベース システム
		女性	60.4% (17.2%)	16.7%	50%	基準値不適のため 判定不能	E	
⑦	LDLコレステロール120mg/dl以上の者の数(割合)	男性	6.2% (H26 49.9%)	48.6% 【H27】	5.6%	基準値不適のため 判定不能	E	いわて健康データ ウェアハウス
		女性	5.7% (H26 54.6%)	53% 【H27】	7.6%	基準値不適のため 判定不能	E	
⑧	高血圧の人の割合 (異常所見あり)	男性	30.2% (男女合わせて6.3%)	7.0%	20%	基準値不適のため 判定不能	E	国保データベース システム
		女性	24.9% (男女合わせて6.3%)		14%	基準値不適のため 判定不能	E	
⑨	喫煙率	男性	21.6%	19.2%	12%	25.0%	B	東日本大震災被災者健診
		女性	2.7%	3.3%	1%	-35.3%	D	
⑩	ソーシャルキャピタル まわりの人々はお互いに助け合っている (強くそう思う+どちらかといえばそう思う)	全体	78.3%	81.5%	88%	33.0%	B	
⑪	1人平均現在歯数(本)	65歳	23.22	23.51	25	16.3%	C	陸前高田市歯科検診データ
⑫	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している者の割合	男性	28.1%	31.6%	38%	35.4%	B	陸前高田市特定健診・被災者健診
		女性	22.4%	28.5%	32%	63.5%	A	

番号	目標項目	区分	基準値	中間実績値	目標値	到達度	評価	出典
			H26 ※基準値が不適 なものは()内 が正しい基準値	H29	H34			
⑬	主観的健康観 (とても良い・まあ良い)	男性	85.8%	87.1%	95%	14.1%	C	東日本大震災被災者健診
		女性	86.1%	86.3%	96%	2.0%	C	
⑭	うつ病・不安障害 (K6得点が5点以上の人の割合)	男性	17.1%	21.7%	7%	-45.5%	D	
		女性	28.1%	30.1%	18%	-19.8%	D	
⑮	出生率(人口千対)		5.5	5.1 【H28】	9	-11.4%	D	岩手県保健福祉年報
⑯	養護者の子育て不安割合		37.1%	データなし	27%	データがないため判定不能	E	子育て支援新ニーズ(子ども子育て課)
⑰	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	中学1年男子	84.4%	78.8%	94%	-58.3%	D	がん等疾病予防支援システム
		中学1年女子						
⑱	3歳児でむし歯がある者の割合(う歯有病率)		56.9%	31.4%	14%	59.4%	A	地域保健・増進報告
⑲	12歳児でむし歯がある者の割合(う歯有病率)		25.3% (61.4%)	52.6%	15%	基準値不適のため判定不能	E	陸前高田市教育委員会資料
⑳	朝食を毎日食べる子どもの割合の増加	小学校4年	97.8%	97.9%	100%	4.5%	C	がん等疾病予防支援システム
		中学校3年	90.5%	92.1%	100%	16.8%	C	
㉑	肥満傾向にある子どもの割合の低下(軽度+重度)	小学校5年男子	14.3%	10.4%	8.0%	61.9%	A	陸前高田市教育委員会資料
		小学校5年女子	11.6%	10.5%	4.6%	15.7%	C	
		中学校3年男子	9.4%	10.8%	6.5%	-48.3%	D	
		中学校3年女子	13.5%	10.6%	4.0%	30.5%	B	

①「健康寿命（65歳以上の要介護・要支援認定者の割合）」

中間実績値が19.3%であり、基準値より悪化しているため、評価「D」としていません。

④「がん検診受診率の向上」

胃がん検診（男女）、肺がん検診（男）、子宮頸がん検診、乳がん検診は基準値に比べ受診率がやや増加したため、評価「C」としていません。

一方、肺がん検診（女）、大腸がん検診（男女）は基準値に比べ受診率が低下したため、評価「D」としていません。

⑤「適正体重を維持している者の増加」

適正体重を維持していない者の割合は、基準値より増加しているため、評価「D」としていません。

⑥「メタボリックシンドロームの該当者」

基準値に誤りがあり、基準値不適のため評価「E」としていません。（ ）内に記載の正しい基準値と比較すると、男性は増加傾向、女性は若干の減少傾向にあります。

⑦「LDLコレステロール 120mg/dl 以上の者の割合」

基準値に誤りがあり、基準値不適のため評価「E」としていません。（ ）内に記載の正しい基準値と比較すると、男女ともに若干の減少傾向にあります。

⑧「高血圧の人の割合」

基準値に誤りがあり、基準値不適のため評価「E」としていません。（ ）内に記載の正しい基準値と比較すると、増加傾向にあります。

⑨「喫煙率」

男性の喫煙率は基準値より減少しているため評価「B」、女性の喫煙率は基準値より増加しているため評価「D」としていません。

⑩「ソーシャルキャピタル まわりの人々はお互いに助け合っている（強くそう思う+どちらかといえばそう思うと答えた人の割合）」

基準値より増加しているため、評価「B」としていません。

⑪「1人平均現在歯数」

基準値よりやや増加しているため、評価「C」としていません。

⑫「1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している者の割合」

男女ともに増加しているため、男性は評価「B」、女性は評価「A」としていません。

⑬「主観的健康観（とても良い・まあ良いと答えた人の割合）」

男女ともにやや増加しているため、評価「C」としていません。

⑭「うつ病・不安障害（K6得点が5点以上の人の割合）」

男女ともに増加しているため、評価「D」としていません。基準値が全国平均より大幅に高い設定となっていたため、基準値の見直しも必要です。

⑮「出生率」

基準値よりやや減少したため、評価「D」としています。

⑯「養護者の子育て不安割合」

子育て支援新ニーズ調査が実施されず、中間実績値がないため評価「E」としています。

⑰「運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合」

基準値より減少しているため、評価「D」としています。

⑱「3歳児でむし歯がある者の割合」

基準値より大幅に減少しているため、評価「A」としています。

⑲「12歳児でむし歯がある者の割合」

基準値に誤りがあり、基準値不適のため評価「E」としています。

()内の正しい基準値と比較すると、12歳児でむし歯がある者の割合は減少傾向にあります。

⑳「朝食を毎日食べる子どもの割合の増加」

小学校4年、中学校3年の両方でやや増加したため、評価「C」としております。

㉑「肥満傾向にある子どもの割合の低下」

小学校5年では男女ともに減少しているため、男子を評価「A」、女子を評価「C」としています。

中学校3年では女子は減少していますが、男子はやや増加しているため、男子を評価「D」、女子を評価「B」としています。

2 考察

- ・平成24（2012）年度から、「はまっつけらいん かだっつけらいん運動」を通して、こころと体の健康づくりを推進してきました。女性の平均寿命は平成22（2010）年に引き続き、平成27（2015）年も県内1位となっており、「⑩ソーシャルキャピタルまわりの人々はお互いに助け合っている」、「⑬主観的健康観」の指標が改善していることから、市民、関係団体等の活動が平均寿命の延伸につながったと考えられます。65歳以上の要介護認定者の割合は、0.5%上昇しており、高齢化率の上昇を考慮しても、現状維持を目標に社会参加の機会の増加や介護予防事業との連携による地域づくりを引き続き重視していきます。
- ・胃がん検診、肺がん検診（男）、子宮頸がん検診、乳がん検診の受診率が増加した要因の1つとして、平成28（2016）年度から胃がん検診の検診料を減額したこと、子宮頸がん検診・乳がん検診の追加検診を設け、未受診者に対し再勧奨を行ったことが考えられます。その他のがん検診についても、今後特定健診等と併せた追加検診の実施や未受診者への再勧奨など、健診を受けやすい体制づくりとともに受診意欲に働きかける取組を行います。
- ・女性の喫煙率の増加について、特に妊娠中の喫煙は妊婦のみならず胎児や出生児の健

康に大きな影響を及ぼすことから、重点的に取り組むべき課題の1つです。同居家族による喫煙は、妊婦や子どもに大きな影響を与えることから普及啓発や禁煙希望者に対する支援、環境整備等、地域全体で喫煙問題に取り組むことが求められています。

- 成人の運動習慣がある者の割合の増加については、運動できる環境が整備されてきていることに加え、市で行っている運動普及教室の開催やノルディック・ウォーキングの普及活動、たかた☆ハッピー♪ウェーブ！や保健推進員による活動の成果であると考えます。今後は、夢アリーナたかた等の新たな施設の活用や関係団体と連携しながら、さらなる運動普及に向け取り組みたいと考えます。
- 適正体重を維持していない者や、男性のメタボリックシンドローム該当者、高血圧の人の割合が増加していることから、生活習慣病の発症や重症化を予防するため、保健推進員や食生活改善推進員と協力し、生活習慣の改善に向けたさらなる取り組みが必要であると考えます。
- まわりの人々はお互いに助け合っていると答えた人の割合が増加している背景には、終の棲家となる災害公営住宅への入居や高台移転が進み、コミュニティの再編の中で新たな繋がりや結びつきが生まれていることや、はまかだが地域において浸透していることが考えられ、それらが主観的健康観の上昇にも寄与しているものと考えます。
- 3歳児でむし歯がある子の割合が大幅に減少した背景には、歯科医院の協力のもと、むし歯予防に有効とされるフッ化物の積極的な活用や、地道な普及啓発による保護者や保育施設の意識の変化が要因の一つとして考えられます。12歳児でむし歯がある子の割合も減少傾向にありますが、依然として高い状態であるため、今後は学校保健分野との連携を図り、児童・生徒のむし歯予防にも力を入れ取り組みたいと考えます。
- 大人や子どもの生活習慣病対策は、「はまってけらいん、かだつてけらいん」を積み重ねることで、ソーシャル・キャピタルの醸成を進めることが解決策へつながるため、引き続き「はまかだ」の視点を様々な活動に取り入れ、誰もが健康になる環境を整えていく必要があります。

3 課題

- 次世代の健康を守るため保育所・学校・家庭・地域との連携による対策が必要です。
- 喫煙対策に関する普及啓発及び環境整備が必要です。
- 生活習慣病の発症を防ぐために、普及啓発と個人や地域支援の強化が必要です。

第4章 目標項目及び指標の変更

本計画の現行の目標項目のうち、次のいずれかまたは複数項目に該当する15項目について、指標等の見直しを行い、基準値や目標値等を変更します。

- ・関連計画との整合性をはかる必要があるもの
- ・現行の目標のままでは評価等が難しいためデータの出典等を見直し、新たに目標を設定するもの
- ・その他の理由により変更が必要となったもの

なお、上記以外の目標項目については、現行のままとし、引き続き、最終年度の目標達成を目指します。

目標項目	① 65歳以上の要介護（要支援）認定者の割合の維持（%）					
変更内容	【目標値の変更】 陸前高田市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画では、当市の要介護（要支援）認定者の割合は平成32（2020）年度までに21.2%まで上昇することが見込まれていることから、目標値を変更します。					
区分	変更前			変更後		
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
		18.8%	19%		19.3%	21.5%
出典	市民課データ					

目標項目	変更前			変更後		
	⑤ 適正体重を維持している者の増加			⑤ 肥満者（BMI 25以上）の減少（%）		
変更内容	【目標項目・基準値・出典の変更】 肥満と痩せでは、課題となる生活習慣等も対策も異なることから、肥満者に着目した目標設定に変更します。 なお、東日本大震災被災者健診は平成32（2020）年度で終了が見込まれることから出典を国保データベースシステムのデータに変更します。					
区分	変更前			変更後		
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
	男性	36.4	30	男性	39.5	30
	女性	34.4	26	女性	30.5	26
出典	東日本大震災被災者健診			国保データベースシステム		

目標項目	⑥ メタボリックシンドローム該当者および予備軍の減少 (%)					
変更内容	【基準値・目標値の変更】 市第2期データヘルス計画との整合性を図るため、新たに基準値を設定し、目標値を変更します。					
区分	変更前			変更後		
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
	男性	57.6	47	該当者	19.1	14.0
	女性	60.4	50	予備軍	10.1	6.5
出典	国保データベースシステム					

目標項目	変更前			変更後		
	⑦ LDL コレステロール 120mg/d 1以上の者の数 (割合)			⑦ HbA1c5.6%以上の者の割合の減少 (%)		
変更内容	【目標項目・基準値・目標値・出典の変更】 当初設定した基準値に誤りがあったため、新たに基準値を設定し、目標値を変更します。LDL コレステロール高値の割合は全国・県と比較して低いため、目標項目から削除し、新たに、当市の健康課題である糖尿病に関連した目標項目を設定します。 なお、市第2期データヘルス計画との整合性を図るため、出典を国保データベースシステムに変更します。					
区分	変更前			変更後		
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
	男性	6.2	5.6	男性	66.9	56.0
	女性	5.7	7.6	女性	68.2	58.0
出典	いわて健康データウェアハウス			国保データベースシステム		

目標項目	変更前			変更後		
	⑧ 高血圧の人の割合(異常所見あり)			⑧ 収縮期血圧 130mmHg 以上の者の割合の低下 (%)		
変更内容	【目標項目・基準値・目標値の変更】 当初設定した基準値に誤りがあったため、新たに基準値を設定し、目標値を変更することで、市第2期データヘルス計画との整合性を図ります。					
区分	変更前			変更後		
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
	男性	30.2	20.0	男性	56.7	48.0
	女性	24.9	14.0	女性	47.7	22.0
出典	国保データベースシステム					

目標項目	⑨ 喫煙率の低下 (%)				
変更内容	【基準値・目標値・出典の変更】 データの出典を国保データベースシステムとし、基準値・目標値を変更することで、市第2期データヘルス計画との整合性を図ります。				
区分	変更前			変更後	
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29) 目標値 (H34)
	男性	21.6	12		14.2 12.0
	女性	2.7	1		
出典	東日本大震災被災者健診			国保データベースシステム	

目標項目	⑩ まわりの人々はお互いによく助け合っていると思う人の割合の増加 (%) (強くそう思う・どちらかといえばそう思うの合計)				
変更内容	【基準値・出典の変更】 東日本大震災被災者健診は平成 32 (2020) 年度で終了が見込まれることから出典を住民アンケートに変更します。				
区分	変更前			変更後	
基準値及び目標値		基準値 (H25)	目標値 (H34)		基準値 (H30) 目標値 (H34)
		78.3	88.0		68.6 88.0
出典	東日本大震災被災者健診			住民アンケート	

目標項目	⑫ 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している者の割合の増加 (%)				
変更内容	【基準値・出典の変更】 東日本大震災被災者健診は平成 32 (2020) 年度で終了が見込まれることから出典を国保データベースシステムに変更します。				
区分	変更前			変更後	
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29) 目標値 (H34)
	男性	28.1	38.0	男性	28.3 38.0
	女性	22.4	32.0	女性	29.2 32.0
出典	陸前高田市特定健診・被災者健診			国保データベースシステム	

目標項目	⑬ 主観的健康観が（とても良い・まあ良い）者の割合の増加（％）					
変更内容	【基準値・目標値・出典の変更】 東日本大震災被災者健診は平成 32（2020）年度で終了が見込まれることから出典を住民アンケートに変更し、基準値、目標値を変更します。					
区分	変更前			変更後		
基準値 及び 目標値		基準値 (H25)	目標値 (H34)		基準値 (H30)	目標値 (H34)
	男性	85.8	95.0		81.4	増加へ
	女性	86.1	96.0			
出典	東日本大震災被災者健診			住民アンケート		

目標項目	⑭ K6（うつ病・不安障害等スクリーニング）得点が5点以上の人の割合の低下（％）					
変更内容	【基準値・目標値・出典の変更】 東日本大震災被災者健診は平成 32（2020）年度で終了が見込まれることから出典を住民アンケートに変更し、基準値を変更します。また、策定時の目標値が全国平均を大きく下回り、実現性に乏しいとの指摘があったため、目標値を基準値からの改善を目指すものに変更します。					
区分	変更前			変更後		
基準値 及び 目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H30)	目標値 (H34)
	男性	17.1	7.0	男性	36.3	減少へ
	女性	28.1	18.0	女性	47.7	減少へ
出典	東日本大震災被災者健診			住民アンケート		

目標項目	変更前			変更後		
	⑮ 出生率（人口千人対）			⑮ 出生数の維持(人)		
変更内容	【目標項目・基準値・目標値の変更】 市総合計画との整合性を図るため、目標項目・基準値・目標値を変更します。					
区分	変更前			変更後		
基準値 及び 目標値		基準値 (H25)	目標値 (H34)		基準値 (H28)	目標値 (H33)
		5.5	9.0		99	100
出典	岩手県保健福祉年報					

目標項目	変更前		変更後			
	⑯ 養護者の子育て不安割合 (%)			⑯ 育児について相談する相手がない保護者の減少 (人)		
変更内容	【目標項目・基準値・目標値・出典の変更】 子育て支援新ニーズ調査が最終評価年次に実施されないことから、出典をがん等疾病予防支援システム乳幼児健康診査集計表に変更し、基準値・目標値も変更します。					
区分	変更前		変更後			
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
		37.1	27.0	3歳児健診	1	0
出典	子育て支援新ニーズ(子ども子育て課)		がん等疾病予防支援システム			

目標項目	変更前		変更後			
	⑰ 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加 (%)			⑰ 1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している子どもの割合の増加 (%)		
変更内容	【目標項目・基準値・目標値の変更】 男女の差が大きいことから、男女別に分けた基準値と目標値の設定を行います。					
区分	変更前		変更後			
基準値及び目標値		基準値 (H26)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
		84.4	94.0	中学1年男子	90.4	増加へ
				中学1年女子	65.6	増加へ
出典	がん等疾病予防支援システム					

目標項目	⑱ 12歳児でむし歯がある者の割合の減少 (%)					
変更内容	【基準値・目標値の変更】 計画策定時の基準値の誤りがあったため、改めて基準値・目標値を設定します。なお、新たに設定する目標値は健康いわて21プランの目標値と同等とします。					
区分	変更前		変更後			
基準値及び目標値		基準値 (H25)	目標値 (H34)		基準値 (H29)	目標値 (H34)
		25.3	15.0		52.6	28.0
出典	陸前高田市教育委員会資料					

目標項目	㉔ はまかだを実践している者の割合の増加（％）					
変更内容	【目標項目の新規追加】 本計画の全体目標や基本的な方向に定められている「はまってけらいん かだってけらいん」の評価項目として新たに設定します。					
区分	変更前		変更後			
基準値 及び 目標値		基準値	目標値		基準値 (H30)	目標値 (H34)
		—	—		12.8	20.0
出典	住民アンケート					

第5章 今後の取組

1 今後の取組の方向性

陸前高田市健康づくり推進計画は、健康いわて21プランや国の健康増進施策の方向性等を勘案し、市の総合計画をはじめとする各種関連計画との整合性を図りながら、更なる市民の健康増進を進めます。

計画の最終年度である平成34(2022)年度に向けては、中間評価により明らかとなった課題を踏まえ、次の点について施策を強化します。

- (1) 次世代の健康を守るため保育所・学校・家庭・地域との連携による対策が必要である。

次世代の健康は、人生を支えるための健康な身体や望ましい生活習慣の基礎を作る重要な時期です。学齢期のう歯有病者率の改善、運動習慣の定着化などに対する普及啓発や環境整備を実施します。

- (2) 喫煙対策に関する普及啓発及び環境整備が必要である。

成人の喫煙率は、男性は減少しているものの、女性は増加しています。特に妊娠中の喫煙は妊婦のみならず胎児や出生児の健康に大きな影響を及ぼすことから、同居家族を含めた禁煙の取組が重要です。医療機関と連携した禁煙希望者に対する禁煙支援の取組の強化を図ります。

- (3) 生活習慣病の発症を防ぐために、普及啓発と個人や地域支援の強化が必要である。

運動や食事などの課題を明確にしなが、保健推進員や食生活改善推進員等の関係組織の連携と地域のつながりをいかした環境づくりにより、個人の生活習慣の改善と継続が支えられる取組を行います。

2 施策実施に当たって重視する視点

陸前高田市健康づくり推進計画の目標達成に向けて、各種施策の実施に当たっては、次の3点を重視する視点とし、取組を推進します。

- (1) 「はまってけらいん かだってけらいん運動」の推進

人が集い、話す機会を大切にすることでこころと身体の健康づくりを進めます。地域におけるあらゆる場所、機会における交流を活性化することで、ソーシャルキャピタルの醸成につなげます。

- (2) 関係機関の連携

関係者が連携し、一体となって健康増進に取り組むほか、幅広い分野との協働により、健康づくりに取組みます。

- (3) 「見える化」の推進

本市の健康課題に等について、グラフや地図等を用いた可視化により、市民へのわかりやすい情報提供を進めます。地域の状況に合わせた計画のもと、その地区に合った一人ひとりを元気に健康にする方策を地域の皆さまと共に考え続けます。

目標項目一覧

陸前高田市健康づくり推進計画目標一覧

見直し部分：ゴシック太字

番号	目標項目	区分	年度	基準値	目標値 H34(2022)	出典
①	65歳以上の要介護 認定者の割合の維持 (%)	(要支援)	㉔	18.8	21.5	市民課データ (年度末時点)
②	(参考)健康寿命 (国の示す計算式 による)(歳)	男性	㉔	64.4		国保データベースシ ステム
		女性	㉔	66.9		
③	平均寿命(歳)	男性	㉔	78.6		市町村別生命表
		女性	㉔	86.9		
④	がん検診受診率の 向上 (%)	胃がん：男	㉔	15.2	50.0	地域保健・増進報告
		胃がん：女	㉔	14.5		
		肺がん：男	㉔	18.5		
		肺がん：女	㉔	26.5		
		大腸がん： 男	㉔	18.4		
		大腸がん： 女	㉔	19.4		
		子宮(頸)が ん	㉔	26.0		
		乳がん	㉔	34.3		
⑤	肥満者(BMI25以上 の者)の減少 (%)	男性	㉔	39.5	30.0	国保データベースシ ステム
		女性	㉔	30.5	26.0	

番号	目標項目	区分	年度	基準値	目標値 H34(2020)	出典
⑥	メタボリックシンドローム該当者および予備軍の減少(%)	該当者	㉘	19.1	14.0	国保データベースシステム
		予備軍	㉘	10.1	6.5	
⑦	HbA1c 5.6%以上の者の割合の減少(%)	男性	㉘	66.9	56.0	国保データベースシステム
		女性	㉘	68.2	58.0	
⑧	収縮期血圧130mmHg以上の者の割合の低下(%)	男性	㉘	56.7	48.0	国保データベースシステム
		女性	㉘	47.7	22.0	
⑨	喫煙率の低下(%)		㉘	14.2	12.0	国保データベースシステム
⑩	まわりの人々はお互いに助け合っている(強くそう思う+どちらかといえばそう思う)と思う者の割合の増加(%)		㉘	68.6	88.0	住民アンケート
⑪	1人平均現在歯数(本)	65歳	㉚	23.22	25.0	市歯科検診データ
⑫	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している者の割合の増加(%)	男性	㉘	28.3	38.0	国保データベースシステム
		女性	㉘	29.2	32.0	
⑬	主観的健康観がとても良い・まあ良い者の割合の増加(%)		㉙	81.4	増加へ	住民アンケート
⑭	K6(うつ病・不安障害等スクリーニング)得点が5点以上の者の割合の増加(%)	男性	㉙	36.3	低下へ	
		女性	㉙	47.7	低下へ	
⑮	出生数の維持(人)		㉘	105	100	岩手県保健福祉年報
⑯	育児について相談する相手がいない保護者の減少(人)		㉘	1	0	がん等疾病予防支援システム

番号	目標項目	区分	年度 基準値	目標値 H34(2020)	出典
⑰	1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している子どもの割合の増加(%)	中学1年男子	⑳ 90.4	増加へ	がん等疾病予防支援システム
		中学1年女子	⑳ 65.6	増加へ	
⑱	3歳児でむし歯がある者の割合の減少(%)		㉖ 56.9	14.0	地域保健・増進報告
⑲	12歳児でむし歯がある者の割合の減少(%)		㉑ 52.6	28.0	陸前高田市教育委員会資料
⑳	朝食を毎日食べる子どもの割合の増加(%)	小学校4年	㉖ 97.8	100	がん等疾病予防支援システム
		中学校3年	㉖ 90.5	100	
㉑	肥満傾向にある子どもの割合の低下(軽度+重度)(%)	小学校5年男子	㉖ 14.3	8.0	市教育委員会資料
		小学校5年女子	㉖ 11.6	4.6	
		中学校3年男子	㉖ 9.4	6.5	
		中学校3年女子	㉖ 13.5	4.0	
㉒	はまかだを実践している者の割合の増加(%)		㉓ 12.8	20.0	住民アンケート

資料編

1 調査の概要

(1) 調査の目的

陸前高田市健康づくり推進計画の中間評価を行うための基礎資料とするため。

(2) 調査対象者

市内全世帯のうち代表回答者 1 名

(3) 調査期間

平成 30 年 4 月 11 日から 4 月 25 日

(4) 調査方法

平成 30 年度各種検診の申し込み通知に同封し、全世帯に郵送。検診の申し込みと併せ、返信用封筒にて回収。

(5) 調査結果の概要

配布数 7366 件

回収数 3472 件（回収率 47.1%）

① 回答者の性別及び年齢

年齢		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
実数	男	19	47	95	189	370	434	215	2	1371
	女	24	85	246	397	578	494	229	0	2053

② 現在の健康状態について（主観的健康観）

	男	女
とても良い	10.5%	8.7%
まあ良い	71.9%	72.1%
あまり良くない	13.6%	16.0%
良くない	3.4%	2.7%
無回答	0.6%	0.5%

③ 減塩についての意識について

	男	女
意識して実践	52.6%	52.6%
意識しているが実践なし	36.5%	36.5%
意識していない	10.2%	10.2%
無回答	0.7%	0.7%

④ 人とのつながりについて

(まわりの人々はお互いに助け合っていると思いますか)

	男	女
強くそう思う	13.9%	12.0%
どちらかと言えばそう思う	56.0%	55.6%
どちらとも言えない	22.3%	24.9%
どちらかと言えばそう思わない	4.4%	3.9%
全くそう思わない	1.2%	1.1%
無回答	2.3%	2.5%

⑤ こころの元気さについて (K6)

	男	女
5点未満 (こころの健康状態良好)	56.8%	44.7%
5点以上 (こころの健康状態不良)	36.3%	47.7%
判定不能	6.9%	7.5%

⑥ はまってけらいん かだつてけらいん実践度

	男	女
知っており、実践	11.0%	14.0%
意識しているが実践なし	57.3%	58.6%
意識していない	29.5%	24.9%
無回答	2.2%	2.4%

⑦ 地域活動 (例 コミュニティセンターの活動、地域のお祭り、サロン等) や趣味の会 (例 運動サークル、囲碁・将棋、手芸等) への参加状況

	男	女
週1以上	8.5%	8.4%
月1以上	12.3%	14.0%
年数回	28.3%	22.4%
参加していない	48.9%	52.7%
無回答	2.0%	2.4%

※ 結果の割合は、四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある。